

# 令和3年度 事業報告及び決算

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

## 目 次

|    |                              |     |
|----|------------------------------|-----|
| 1  | 総 括                          | 1   |
| 2  | 希望の郷                         | 1 0 |
| 3  | 未 来                          | 1 2 |
| 4  | ワーク&デイ ラクリエ                  | 1 4 |
| 5  | ふらっとホーム                      | 1 6 |
| 6  | 希望ホーム                        | 1 8 |
| 7  | 相談支援事業所きぼう                   | 1 9 |
| 8  | 児童デイ フラット未来                  | 2 1 |
| 9  | ふらっと Café（地域共生事業）            | 2 2 |
| 10 | 徳島県立障がい者交流プラザ（障がい者交流センター）    | 2 4 |
| 11 | 徳島県立障がい者交流プラザ（視聴覚障がい者支援センター） | 2 6 |
| 12 | 徳島県立総合福祉センター                 | 2 9 |
| 13 | 徳島県地域生活定着支援センター              | 3 1 |
| 14 | 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター         | 3 3 |
| 15 | ノーマライゼーション促進センター             | 3 6 |
| 16 | 徳島県障がい者スポーツ協会                | 3 8 |

## 令和3年度 事業報告書

### 1 総 括

平成30年度に策定した「経営中期計画（5か年計画）」の核となるプロジェクトである「地域生活支援拠点」については、平成30年度に基本構想を策定して以降、令和元年度に基本設計・実施設計、令和2年9月に工事着工、そして、令和3年9月に「ふらっとKOKUFU」として竣工、運営を開始し、法人あげての取組が結実することとなった。

また、令和3年度は、コロナ禍の中にあっても、「経営中期計画」の4年目として、計画に盛り込まれた事業を着実に進め、利用者サービスの向上と施設の機能強化、福祉人材の確保と育成などに取り組んできたところである。

#### （地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」の開設）

「みんなが気軽にふらっと立ち寄り、分け隔てなく交流できる所」にしたいという思いを込めて開設した「ふらっとKOKUFU」では、「国府町マルシェ」をはじめ、様々な交流イベント、ワークショップを定期的を開催するなど、地域の交流拠点として、地域の方と共に歩みを進めている。

「ワーク&デイ ラクリエ」では、障がい者の通所施設として、社会生活技能訓練の実施、利用者の個性に応じた創作活動の支援や、ビルメンテナンス協会との協定による大型清掃機械等の操作体験会の開催など多彩なメニューを提供した。また、農業法人等と連携し、じゃがいもなどの自社栽培や、「ふらっとラボ（加工室）」で農作物をパウダーなどに加工し企業へ納品するという取組を始めるとともに、国府支援学校との連携を強化し、インターンシップ受け入れや農業体験など、共同での取組を進めている。

「ふらっとホーム」では、開設後6名の共同生活援助を開始するとともに、施設見学会の実施や体験利用の受け入れを積極的に行うなど、さらなる入居者の募集に努めている。

相談支援事業所「きぼう」では、24時間365日体制の相談支援を行い、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に取り組んでいる。

#### （新型コロナウイルス感染症対策）

新型コロナウイルス感染症への対応については、法人内で情報や対応方針を共有して、衛生・健康管理の徹底をはじめ対策を行った。施設においては、迅速なワクチン接種や支援体制の見直しなど、職員、利用者、関係者が一丸となって、状況に応じた対応を行った。

また、各種会議・イベントの開催や、障がい者のスポーツ・芸術活動の支援に、オンラインやSNSを活用した事業展開を積極的に進めた。

#### (利用者サービスの向上と施設の機能強化)

障害者支援施設「希望の郷」では、重度高齢化が進む中、支援員、看護師、理学療法士、栄養士で構成する健康推進チームを設置し、健康や運動機能の維持増進を図るための新しい取組を実践した。スマートウォッチを活用した健康管理の取組は、全国事業団大会で発表し好評を得た。また、施設外での就労体験や農業体験を実施し、心身のリフレッシュや社会参加への意欲の向上を図った。

障害児入所施設「未来」では、保護者のニーズに応えるため、従来からの併設型短期入所に加え、空床型短期入所事業を開始し、利用実績を伸ばした。管理栄養士による栄養講座の実施や、大学、障害者支援施設及びボランティアと連携し、eスポーツイベント参加やオンラインでの交流を行った。

一方、指定管理事業については、まず、県立総合福祉センターにおいて、福祉講座や企画展、地域連携による地域防災講座や地域交流絵画展を開催するとともに、徳島県と福祉団体との協働による「生涯健康フェア」を初めて開催した。

また、障がい者交流プラザでは、9月の1か月間を「2021交流プラザフェスタ月間」とし、プラザショップにおける企画展や関係団体と連携したマルシェを定期的に開催するなど、コロナ禍においても利用者が楽しむことができる事業を展開した。

視聴覚障がい者支援センターでは、視覚障がい者がオンラインでの会議に参加する際の接続方法等の訓練や、スマホの操作支援の講座などを実施した。聴覚障がい者への支援では、ワクチン大規模接種などコロナ関係や病院受診等に関する手話通訳の依頼が増え、派遣件数が前年度比1.4倍となった。また、読書バリアフリー推進事業として、公立図書館等職員を対象とした研修会や、高校の放送部員を対象に音声図書製作体験研修を実施した。

地域生活定着支援センターでは、事業所開設10年の節目を迎え、これまでの業務成果をまとめたリーフレットを発行し、関係機関に周知した。また、令和4年度から実施する高齢・障害被疑者等支援業務（入口支援）に向けて、関係機関と協議するなど課題や事前準備事項等の検討を行った。

障がい者芸術・文化活動支援センターでは、初の「全国公募Tシャツデザイン展」や「第7回障がい者アーティストの卵」発掘展、「PICFA アートの仕事展」などを開催し、障がい者の芸術・文化活動の裾野拡大と障がい者の芸術の素晴らしさをPRした。

障がい者スポーツ協会では、設立5周年を記念した「2022 頑張るんじょ! とくしまパラスポーツフェスティバル」を開催し、東京パラリンピックの競技審判員やトレーナー等で活躍した徳島県在住の方々を招いた講演会や、eスポーツ体験等を実施した。

（法人設立50周年に向けた取組）

法人設立50周年に向け、法人を挙げて地域貢献事業を積極的に推進するため、令和3年12月に「地域貢献事業推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、全職員が自ら企画し、積極的に取り組める体制を整えた。

また、令和4年1月、四国大学及び四国大学短期大学部と包括連携協定を締結し、地域の障がい福祉等の課題に連携して取り組むこととした。

（経営組織の体制づくり・福祉人材の確保と育成等）

人材育成基本方針に基づくキャリアアップシステム構築の一環として、法人内の多様な事業所で、主体的に業務を経験できる新たな研修制度を導入するとともに、各施設においても、OJT研修や各種研修を実施し、職員の育成や専門性の向上に努めた。

採用活動では、オンラインでの福祉就職ガイダンスに若手職員が参加し、職場の魅力をPRするとともに、計画的に支援員や専門職（心理、言語聴覚士、看護師）を採用した。

また、全事業所を対象とした産業医の配置、全職員のストレスチェックやメンタルヘルス研修ほか、在宅勤務の実施により、職員の健康保持増進とワークライフバランスの確立を図った。

さらには、障がい者交流プラザ、ふらっとKOKUFU及び未来が、徳島市から福祉避難所の指定を受けるとともに、法人本部及び各事業所において、BCP（業務継続計画）を策定し、災害時に備えての体制づくりを行った。

## 2 決算状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：円）

| 区 分                          | 決 算 額            | 前年度決算額           | 増 減            | 対前年比    |
|------------------------------|------------------|------------------|----------------|---------|
| 事業活動による収入 (1)                | 1, 234, 861, 754 | 1, 178, 857, 225 | 56, 004, 529   | 104. 8% |
| 施設整備等による収入 (2)               | 709, 327, 541    | 332, 587, 352    | 376, 740, 189  |         |
| その他の活動による収入(3)               | 170, 290, 920    | 22, 006, 737     | 148, 284, 183  |         |
| 収入合計(1)+(2)+(3)              | 2, 114, 480, 215 | 1, 533, 451, 314 | 581, 028, 901  | 137. 9% |
| 事業活動による支出 (4)                | 1, 122, 839, 356 | 1, 030, 883, 240 | 91, 956, 116   | 108. 9% |
| うち、人件費支出                     | 717, 325, 975    | 670, 247, 467    | 47, 078, 508   | 107. 0% |
| 事業活動収入に対する人件費比率              | 58. 09%          | 56. 86%          | ——             |         |
| 施設整備等による支出 (5)               | 987, 642, 771    | 205, 718, 807    | 781, 923, 964  |         |
| その他の活動による支出(6)               | 185, 600, 092    | 73, 395, 718     | 112, 204, 374  |         |
| 支出合計(4)+(5)+(6)              | 2, 296, 082, 219 | 1, 309, 997, 765 | 986, 084, 454  | 175. 3% |
| 当期資金収支差額(7)                  | △181, 602, 004   | 223, 453, 549    | △405, 055, 553 |         |
| (ア)<br>(事業活動資金収支差額(1)-(4))   | 112, 022, 398    | 147, 973, 985    | △ 35, 951, 587 | 75. 7%  |
| (イ)<br>(施設整備等資金収支差額(2)-(5))  | △278, 315, 230   | 126, 868, 545    | △151, 446, 685 |         |
| (ウ)<br>(その他の活動資金収支差額(3)-(6)) | △ 15, 309, 172   | △ 51, 388, 981   | △ 66, 698, 153 |         |
| 前期末支払資金残高(8)                 | 673, 990, 090    | 450, 536, 541    | 223, 453, 549  | 149. 6% |
| 当期末支払資金残高(7)+(8)             | 492, 388, 086    | 673, 990, 090    | △181, 602, 004 | 73. 1%  |

事業活動面では、事業活動による収入は、1, 234, 862千円（前年度1, 178, 857千円）となり、前年対比104. 8%となっており、確実に収入の伸びを確保している。これは、希望の郷における介護給付費収入や未来における障害児入所給付費収入をはじめ、ふらっとKOKUFUの開設に伴う障害福祉サービス等事業収入の増加が、主な要因となっている。

一方、事業活動による支出は、1, 122, 839千円（前年度1, 030, 883千円）となり、前年対比108. 9%となっており、ふらっとKOKUFU事業開始に伴う人件費、事業費及び事務費の増加が主な要因である。

なお、人件費は、717, 326千円（前年度670, 247千円）で、ふらっとKOKUFU事業開始による職員数の増加により、前年対比107. 0%となっている。

収入に対する人件費支出の割合は58. 09%となっている。

この結果、(ア) 事業活動資金収支差額については、112,022千円（前年度147,974千円）となり、前年対比75.7%となっている。

次に、施設整備等による収入及び支出については、ふらっとKOKUFUの施設完成に伴う固定資産への計上などが主なものである。

収入については、農山漁村振興交付金（6,600千円）をはじめとする施設整備等補助金収入（12,055千円）を含んでいる。支出については、ふらっとKOKUFU新築工事費（273,088千円）、設備備品費（58,121千円）などが内容としてあげられる。

また、その他の活動の収入については、170,291千円であり、ふらっとKOKUFU新築工事費支払いのための積立資産の取崩が主な内容である。

支出については、185,600千円であり、危機管理対応のための積立（100,000千円）、将来の地域貢献事業のための積立（30,000千円）などが主な内容である。

この結果、(ウ) その他の活動資金収支差額は、△15,309千円となった。

以上のことから当期資金差額については、△181,602千円となり、前期末支払資金残高に加えると、当期末支払資金残高は、492,388千円となった。

# 資金収支計算書総括表

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(11 拠点区分合計)

(単位: 円)

| 区 分         | 予 算 額         | 決 算 額         | 差 異          |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 事業活動による収入   | 1,223,219,000 | 1,234,861,754 | △ 11,642,754 |
| 施設整備等による収入  | 709,340,000   | 709,327,541   | 12,459       |
| その他の活動による収入 | 170,250,000   | 170,290,920   | △ 40,920     |
| 収入合計        | 2,102,809,000 | 2,114,480,215 | △ 11,671,215 |
| 事業活動による支出   | 1,162,649,000 | 1,122,839,356 | 39,809,644   |
| 施設整備等による支出  | 988,054,000   | 987,642,771   | 411,229      |
| その他の活動による支出 | 185,573,000   | 185,600,092   | △ 27,092     |
| 支出合計        | 2,336,276,000 | 2,296,082,219 | 40,193,781   |
| 当期資金収支差額    | △ 233,467,000 | △ 181,602,004 | △ 51,864,996 |
| 前期末支払資金残高   | 673,990,090   | 673,990,090   | 0            |
| 当期末支払資金残高   | 440,523,090   | 492,388,086   | △ 51,864,996 |

# 事業活動計算書総括表

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(11 拠点区分合計)

(単位: 円)

| 区 分                      |                                    | 当年度決算額           | 前年度決算額           | 増 減             |
|--------------------------|------------------------------------|------------------|------------------|-----------------|
| サービス活動の増減の部              | サービス活動収益(1)                        | 1, 229, 926, 918 | 1, 172, 502, 812 | 57, 424, 106    |
|                          | サービス活動費用(2)                        | 1, 169, 606, 931 | 1, 073, 027, 817 | 96, 579, 114    |
|                          | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)              | 60, 319, 987     | 99, 474, 995     | △ 39, 155, 008  |
| サービス活動外増減の部              | サービス活動外収益(4)                       | 4, 938, 754      | 6, 358, 455      | △ 1, 419, 701   |
|                          | サービス活動外費用(5)                       | 1, 907, 653      | 1, 860, 484      | 47, 169         |
|                          | サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)            | 3, 031, 101      | 4, 497, 971      | △ 1, 466, 870   |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6)        |                                    | 63, 351, 088     | 103, 972, 966    | △ 40, 621, 878  |
| 特別増減の部                   | 特別収益(8)                            | 21, 901, 562     | 282, 587, 352    | △ 260, 685, 790 |
|                          | 特別費用(9)                            | 12, 387, 793     | 283, 759, 766    | △ 271, 371, 973 |
|                          | 特別増減差額(10)=(8)-(9)                 | 9, 513, 769      | △ 1, 172, 414    | 10, 686, 183    |
| 税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10) |                                    | 72, 864, 857     | 102, 800, 552    | △ 29, 935, 695  |
| 法人税、住民税及び事業税(12)         |                                    | 260, 200         | 80, 000          | 180, 200        |
| 当期活動増減差額(13)=(11)-(12)   |                                    | 72, 604, 657     | 102, 720, 552    | △ 30, 115, 895  |
| 繰越活動増減差額の部               | 前期繰越活動増減差額(14)                     | 1, 386, 556, 704 | 1, 333, 834, 544 | 52, 722, 160    |
|                          | 当期末繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)          | 1, 459, 161, 361 | 1, 436, 555, 096 | 22, 606, 265    |
|                          | 基本金取崩額(16)                         | 0                | 0                | 0               |
|                          | その他の積立金取崩額(17)                     | 149, 607, 003    | 33, 036          | 149, 573, 967   |
|                          | その他の積立金積立額(18)                     | 161, 947, 403    | 50, 031, 428     | 111, 915, 975   |
|                          | 次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)-(18) | 1, 446, 820, 961 | 1, 386, 556, 704 | 60, 264, 257    |

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部              |               |               |              | 負債の部             |               |               |              |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|------------------|---------------|---------------|--------------|
|                   | 当年度末          | 前年度末          | 増減           |                  | 当年度末          | 前年度末          | 増減           |
| 流動資産              |               |               |              | 流動負債             |               |               |              |
| 現金預金              | 565,022,723   | 729,568,688   | △164,545,965 | 事業未払金            | 111,176,652   | 90,464,011    | 20,712,641   |
| 事業未収金             | 382,566,490   | 303,346,948   | 79,219,542   | その他の未払金          | 55,548,629    | 39,184,125    | 16,364,504   |
| 未収補助金             | 164,080,801   | 150,243,733   | 13,837,068   | 1年以内返済予定設備資金借入金  | 8,534,396     | 7,603,752     | 930,644      |
| 未収収益              | 16,019,184    | 273,827,484   | △257,808,300 | 1年以内返済予定リース債務    | 5,838,000     | 2,268,000     | 3,570,000    |
| 未収金               | 2,700         | 20,250        | △17,550      | 預り金              | 3,917,728     | 3,974,631     | △56,903      |
| 商品・製品             | 302,964       | 337,424       | △34,460      | 職員預り金            | 241,896       | 95,652        | 146,244      |
| 立替金               | 53,158        | 42,480        | 10,678       | 前受金              | 5,568,333     | 4,605,013     | 963,320      |
| 前払金               | 386,125       | 297,398       | 88,727       | 前受収益             | 248,190       | 148,660       | 99,530       |
| 前払費用              | 93,224        | 82,605        | 10,619       | 仮受金              | 16,035        | 47,166        | △31,131      |
|                   | 1,518,077     | 1,370,366     | 147,711      | 賞与引当金            | 2,700         | 28,850        | △26,150      |
|                   |               |               |              | 未払法人税等           | 28,839,445    | 28,685,262    | 154,183      |
|                   |               |               |              | 未払消費税等           | 260,200       | 80,000        | 180,200      |
|                   |               |               |              | 未払消費税等           | 2,161,100     | 3,742,900     | △1,581,800   |
| 固定資産              | 2,515,433,670 | 2,235,510,840 | 279,922,830  | 固定負債             | 166,523,751   | 120,585,868   | 45,937,883   |
| 基本財産              | 1,887,231,007 | 1,502,737,806 | 384,493,201  | 設備資金借入金          | 123,646,000   | 79,484,000    | 44,162,000   |
| 土地                | 375,019,053   | 375,019,053   | 0            | リース債務            | 2,686,458     | 3,189,243     | △502,785     |
| 建物                | 1,502,211,954 | 1,117,718,753 | 384,493,201  | 退職給付引当金          | 40,191,293    | 37,912,625    | 2,278,668    |
| 定期預金              | 10,000,000    | 10,000,000    | 0            | 負債の部合計           | 277,700,403   | 211,049,879   | 66,650,524   |
| その他の固定資産          | 628,202,663   | 732,773,034   | △104,570,371 | 純資産の部            |               |               |              |
| 建物                | 27,290,665    | 25,402,602    | 1,888,063    | 基本金              | 10,000,000    | 10,000,000    | 0            |
| 構築物               | 77,527,626    | 30,305,555    | 47,222,071   | 第1号基本金           | 10,000,000    | 10,000,000    | 0            |
| 機械及び装置            | 10,496,198    | 4,399,403     | 6,096,795    | 国庫補助金等特別積立金      | 926,213,501   | 950,091,817   | △23,878,316  |
| 車両運搬具             | 11,352,391    | 16            | 11,352,375   | その他の積立金          | 419,721,528   | 407,381,128   | 12,340,400   |
| 器具及び備品            | 30,430,919    | 8,597,329     | 21,833,590   | 施設整備等積立金         | 142,568,280   | 271,964,362   | △129,396,082 |
| 建設仮勘定             | 0             | 207,652,255   | △207,652,255 | 設備拡充積立金          | 27,321,565    | 15,405,466    | 11,916,099   |
| 有形リース資産           | 39,960        | 865,314       | △825,354     | 障害者社会参加促進事業推進積立金 | 120,005,650   | 120,011,300   | △5,650       |
| ソフトウェア            | 2,070,064     | 1,822,970     | 247,094      | 危機管理対応積立金        | 100,000,000   | 0             | 100,000,000  |
| 無形リース資産           | 6,613,914     | 6,298,560     | 315,354      | 地域貢献事業積立金        | 29,826,033    | 29,826,033    | 0            |
| 退職給付引当資産          | 40,191,293    | 37,912,625    | 2,278,668    | 次期繰越活動増減差額       | 1,446,820,961 | 1,386,556,704 | 60,264,257   |
| 施設整備等積立資産         | 142,568,280   | 271,964,362   | △129,396,082 | (うち当期活動増減差額)     | 72,604,657    | 102,720,552   | △30,115,895  |
| 設備拡充積立資産          | 27,321,565    | 15,405,466    | 11,916,099   |                  |               |               |              |
| 障害者社会参加促進事業推進積立資産 | 120,005,650   | 120,011,300   | △5,650       |                  |               |               |              |
| 危機管理対応積立資産        | 100,000,000   | 100,000,000   | 0            |                  |               |               |              |
| 地域貢献事業積立資産        | 29,826,033    | 29,826,033    | 0            |                  |               |               |              |

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部     |               |               | 純資産の部       |               |               |
|----------|---------------|---------------|-------------|---------------|---------------|
|          | 当年度末          | 前年度末          | 増減          | 当年度末          | 前年度末          |
| 差入保証金    | 94,000        | 99,500        | △5,500      |               |               |
| 長期前払費用   | 2,218,455     | 1,890,017     | 328,438     |               |               |
| その他の固定資産 | 155,650       | 145,760       | 9,890       |               |               |
| 資産の部合計   | 3,080,456,393 | 2,965,079,528 | 115,376,865 | 2,802,755,990 | 2,754,029,649 |
|          |               |               |             | 3,080,456,393 | 2,965,079,528 |
|          |               |               |             | 負債及び純資産の部合計   |               |
|          |               |               |             |               | 48,726,341    |
|          |               |               |             |               | 115,376,865   |

### 3 設置経営及び管理運営施設等一覧

(令和4年3月31日現在)

| 区 分   | 施 設 種 別                  | 施 設 名 等                          | 定 員 (名) |    |       | 現員  |
|-------|--------------------------|----------------------------------|---------|----|-------|-----|
|       |                          |                                  | 入所      | 通所 | 利用    |     |
| 設置経営  | 障害者支援施設                  | 希望の郷 (入所)                        | 115     | —  | —     | 117 |
|       |                          | 希望の郷 (短期入所)                      | 5       | —  | —     | —   |
|       | 障害児入所施設                  | 未来 (入所)                          | 60      | —  | —     | 39  |
|       |                          | 未来 (短期入所)                        | 4       | —  | —     | —   |
|       | 児童発達支援事業<br>放課後等デイサービス事業 | 児童デイフラット未来                       | —       | 15 | —     | —   |
|       | 多機能型事業所                  | ワーク&デイ ラクリエ                      | —       | 60 | —     | 52  |
|       | 共同生活援助事業                 | ふらっとホーム                          | 12      | —  | —     | 6   |
|       |                          | ふらっとホーム (短期入所)                   | 3       | —  | —     | —   |
|       | 共同生活援助事業                 | 希望ホーム                            | 13      | —  | —     | 12  |
| 管理運営  | 相談支援事業所                  | きぼう                              | —       | —  | —     | —   |
|       | —                        | 徳島県立総合福祉センター                     | —       | —  | 872   | —   |
|       | —                        | 徳島県立障がい者交流プラザ<br>(障がい者交流センター)    | —       | —  | 227   | —   |
|       | 視聴覚障害者情報提供施設             | 徳島県立障がい者交流プラザ<br>(視聴覚障がい者支援センター) | —       | —  | —     | —   |
| そ の 他 | —                        | 徳島県地域生活定着支援センター                  | —       | —  | —     | —   |
|       | —                        | ノーマライゼーション促進センター                 | —       | —  | —     | —   |
|       | —                        | 公益財団法人徳島県福祉基金事務局                 | —       | —  | —     | —   |
|       | —                        | 徳島県障がい者スポーツ協会事務局                 | —       | —  | —     | —   |
| —     | 合 計                      | —                                | 212     | 75 | 1,099 | 227 |

(注) ワーク&デイ ラクリエの通所定員・現員は、生活介護事業、就労移行及び就労継続支援 B 型の合計利用者数を記載していること。

### 4 監査の実施状況

#### (1) 公認会計士による指導監査

監査対象 令和3年度  
監査内容 税理士法人日本会援隊徳島事務所 公認会計士による監査を実施

### 5 職員の状況 (令和4年3月31日現在)

- (1) 職員総数 208名 (内訳：職員73名、専門職員(無期)22名、  
臨時職員42名、無期非常勤職員25名、非常勤職員等46名)  
前年度 185名 (内訳：職員69名、専門職員(無期)21名、  
臨時職員40名、無期非常勤職員12名、非常勤職員等43名)
- (2) 平均年齢 43.5才 (職員のみ)  
前年度 43.2才 (職員のみ)
- (3) 男女内訳 男子29名、女子44名 (職員のみ)  
前年度 男子30名、女子39名 (職員のみ)

## 希望の郷

希望の郷は、平成19年に開所し主に知的に障がい有する方が利用する障害者支援施設である。日中は、生活介護事業、就労継続支援B型事業、就労移行支援事業、自立訓練事業、夜間は施設入所支援事業、短期入所事業を実施してきた。令和3年9月のふらっとKOKUFU開設に伴い一部サービスの移行を行い、利用者サービスの向上と施設機能の充実を果たすことができた。施設では、利用者が自分らしい日常生活と社会活動への参加を促進するためサービスを提供している。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

コロナ禍において、利用者、保護者、職員など関係者が一丸となって衛生、健康管理に取り組んだ。その中で、健康の増進や生きがい作りを目的としたレクリエーション、オンラインでの活動、健康体操に力を注いだ。特に支援員、看護師、理学療法士、栄養士で構成する健康推進チームを設置し健康管理体制を充実させた。コロナ時代の中で健康の維持増進に大変役立っている。利用者の利用満足度向上については、各種行事、食事提供などニーズを聞き取り寄り添う支援を実施した。

施設の運営では、4月よりユニット型支援の導入、9月より施設入所支援に合わせて日中活動の生活介護においても年中無休として利用者の生活を支えた。また、各種補助金の活用により、衛生用品、面会室などの整備も行った。

#### ① 入退所の状況

(単位：名)

| 令和3年4月1日現在<br>前年度継続利用者数 | 新規契約者数 | 契約解除者数 | 令和4年3月31日現在<br>利用者数 |
|-------------------------|--------|--------|---------------------|
| 157                     | 4      | 44     | 117                 |

\* 契約解除者のうち41名は「ふらっとKOKUFU」への移行者

#### ② 事業別の利用状況（令和3年9月以降）

(単位：名)

|        | 定員  | 現員  | 平均利用者数 |
|--------|-----|-----|--------|
| 生活介護   | 115 | 109 | 79.4   |
| 施設入所支援 | 115 | 117 | 113.9  |
|        | 定員  | 現員  | 延利用者数  |
| 短期入所   | 5   | —   | 6      |

\* 生活介護事業営業日を9月以降年中無休と変更

### 2 重点取組事項

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策

毎日の健康観察の実施は利用者、職員のみならず関係者全員が実施している。徳島アラートの状況を基準に各種行事、利用者の週末帰宅などの実施を決定した。保護者に対してはきめ細やかな情報提供を行い理解を得るよう取り組んだ。職員についても学校関連など家族の罹患状況などには十分な配慮を行い「感染症予防休暇」を適切に利用し利用者、職員の安全な環境整備に努めた。衛生用品の備蓄については、各担当による在庫管理の徹底を行い行政とも連携し、各種補助金などの利用により計画的に行った。

## (2) 利用者サービスの向上

生活介護グループでは、コロナ禍においてユニット型の支援体制を持つことで利用者の細やかな支援が行えるように見直しを図った。支援体制を充実させるため、職員の勤務時間を見直した。複数担任制度の導入検討などの取り組みは、一人ひとりの個人の尊厳と細やかな支援により、QOLの向上を図ることができた。重度高齢化の施設における健康の維持増進には、健康推進チームを中心としたアプローチを実施し成果を上げた。この取り組みは、全国事業団大会大阪大会分科会でも「スマートウォッチを活用したデータベース化による健康管理の取り組み」として発表が行われ好評を得た。

コロナ禍で、日々の活動も少人数で行うことにも慣れ施設内でのレクリエーション、テイクアウト行事、少人数外出、季節の年中行事、誕生会などを実施することができた。オンラインでのスポーツ大会への参加では、県内の支援学校、障害福祉サービス事業所と対戦などを行い楽しい時間を過ごすことができた。障がい者スポーツの専門家によるストレッチなどの指導も受け健康管理にも役立てた。

支援サービスの一つとして農福連携にも取り組みを進めた。施設外での就労体験、農業体験は利用者の心身のリフレッシュとともに、青空の下での気持ち良い仕事は社会参加への意欲も向上させることができています。

## (3) 運営体制の強化

法人経営会議、施設運営会議において施設の運営、経営状況を共有(オンライン会議など活用)し計画に基づき事業を進めた。施設での生活介護グループの活動は、それぞれが利用者ニーズに寄り添い独自性を出しながらも、連携をとれる体制で日々の支援を行った。各種委員会活動では、年間計画に沿い事業が行われた。特に保健給食委員会、防災委員会、衛生委員会では、コロナ禍での支援で危機意識、対応力を高めることができた。人権擁護については、虐待防止委員会として職員の人権意識の向上とスキルアップ研修を実施した。情報発信・情報機器委員会では、顔認証システムによる検温測定とデータベース化により健康管理の実施など ICT、AI 化を進めた。SDGs の取り組みとしてペーパーレス化、省エネルギーなども取り組んでいる。

## (4) 福祉人材の確保・育成

新任職員に対する OJT、中堅職員及び指導的職員の ATT 制度(「前に踏み出す力(アクション: ACTION)」・「考え抜く力(シンキング: THINKING)」・「チームで働く力(チームワーク: TEAMWORK)」)の実施も着実に成果を上げた。派遣研修のオンライン化に伴い多くの職員が参加できる機会が確保されるようになった。強度行動障害のある方の支援についてのスキルアップに力を入れ資格取得者を増やした。法人の自己啓発支援制度を活用し新たな分野にも挑戦する人材も現れ、全体としての底上げにも繋がった。

## (5) 防災の取り組み

施設における自然災害 BCP 計画、感染症対応 BCP 計画は、法人挙げての課題でもあり外部研修、施設内協議を重ね常に更新を実施した。利用者、職員一人一人の意識の向上と命を守る行動の醸成のため毎月の避難訓練も計画的に実施した。コロナ禍での福祉避難所の運営計画の見直しも行った。



## 未 来

障害児入所施設未来は、知的障がい児を主たる対象とする定員60名の福祉型障害児入所施設として徳島市国府町において平成27年度から事業を行っている。その他障害児短期入所事業を行っている。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

本年度の障害児入所施設は、入所児童45名を目標に入所相談や関係機関への呼びかけを行ったものの、月次平均利用者は43.7名（前年対比99.1%）であった。8名の入所があったものの、高等部卒業者の就職及び18歳以上の利用者の成人サービスへの移行による退所に伴い、年度末には39名となった。

また、障害児短期入所事業（自宅で介護する方が病気等の場合に、障害児を受け入れて食事や入浴等の支援を行う）は、保護者のレスパイト利用のニーズに応えるため、令和3年度から併設型4名に加え、空床型短期入所を開始したことにより、1,382日（前年対比175.6%）の利用実績となった。

#### ① 障害児入所施設

（入所定員：60名）

| 区分<br>性別 | 令和3年3月31日<br>現在入所者数 | 入所者数 | 退所者数 | 令和4年3月31日<br>現在入所者数 |
|----------|---------------------|------|------|---------------------|
| 男        | 31                  | 6    | 8    | 29                  |
| 女        | 13                  | 2    | 5    | 10                  |
| 合 計      | 44                  | 8    | 13   | 39                  |

利用者内訳：措置利用者22名、契約利用者17名（前年度 措置25名、契約19名）

#### ② 障害児短期入所事業

（利用定員：4名／日及び本体施設の空床）

| 契約区分<br>項目 | 継続契約              | 新規契約 | 契約終了 | 合 計 |
|------------|-------------------|------|------|-----|
| (1) 契約状況   | 107               | 11   | 0    | 118 |
| (2) 利用実績   | 1,382日（前年度実績787日） |      |      |     |

### 2 重点取組事項

#### (1) 利用者の確保

利用者の確保に向けて児童相談所との連携をはじめ、入所及び短期入所の利用希望のあった保護者に対する入所相談や関係機関への呼びかけを行い、障害児入所施設は8名の入所、短期入所事業についても11名との利用者契約を締結した。

#### (2) サービス向上への取り組み

施設内に福祉サービス第三者評価改善、虐待防止、苦情解決等の8委員会を設置し、サービスの検証・改善、利用者満足度向上への取り組みを行った。

短期入所事業については、従来からの併設型に加え、本体施設の空床を活用した空床型短期入所事業を開始し、保護者のレスパイト利用等のニーズに応えた。

人材育成については、新型コロナの影響で延期、オンラインに変更等があったものの、強度行動障がい支援者養成研修、児童虐待防止セミナー及びサービス管理責任者等研修等

に参加させた。また、職場内研修は、利用者処遇の課題に対応する職員提案型研修等を行い、56研修（OJT研修10、OFF-JT研修45、SDS研修1）を実施した。

【苦情等の受付処理状況】

| 区分\項目  | 苦情 | 意見・要望 | 合計 | 備考                                                |
|--------|----|-------|----|---------------------------------------------------|
| 保護者    | 5  | 0     | 5  | (主な苦情内容)<br>・児童の様子を保護者に連絡できていなかったこと<br>・児童のスマホの故障 |
| 利用者    | 0  | 4     | 4  |                                                   |
| 地域・その他 | 0  | 0     | 0  |                                                   |
| 合計     | 5  | 4     | 9  |                                                   |

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策としては、施設にウイルスを持ち込ませないことを第一に、基本的対策と新しい生活様式による利用者支援を行った。感染症対策強化委員会により徳島県のアラートに連動した「未来アラート」を作成し、その指標に応じて外出、外泊等の自粛要請を行った。また、職員はもとより、児童へのワクチン接種についても、保護者や関係機関と連携しながら希望者への実施や、発熱等の症状がある場合には医療機関を受診するとともに、検査についても積極的に行った。

(4) 防災対策

令和3年9月のふらっと KOKUFU のオープンに合わせ、徳島市から福祉避難所として指定されたことから、事業継続計画（BCP）の策定及び食料等の備蓄を行い、福祉避難所としての体制整備を行った。

(5) 地域貢献と地域連携、その他

管理栄養士による栄養講座の実施や、大学、障害者支援施設及びボランティアと連携し、eスポーツ（e未来kidsクラブ）に取り組んだ。ZOOMアプリを活用し、オンラインでの交流や、ネットワーク型eスポーツイベントにも参加した。

近隣の高齢者施設との交流については、新型コロナのため、日中活動の作品や手紙を贈り合うことによって行った。

従来から地域の方々と交流し、開かれた施設づくりのために実施してきた未来フェスタ、クリスマス会等については、新型コロナの感染防止のため、施設内で実施した。



▲ 日帰り旅行



▲ 未来フェスティバル



▲ クリスマス会



▲ 高齢者施設との交流

## ワーク&デイ ラクリエ

ワーク&デイ ラクリエは、令和3年9月1日に希望の郷の通所機能（生活介護、就労移行及び就労継続支援B型）を移管し多機能型事業所としてスタートした。障がいのある方々が地域社会の一員として輝けるように、利用者の「ありのまま」を受け入れ、「生活人」としての「自己選択」と「自己決定」を尊重し、ライフステージやニーズに応じて、自立した地域生活を営むことができるように運営を行っている。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

ワーク&デイ ラクリエでは、地域とのつながりづくりを念頭に、地域生活拠点「ふらっと KOKUFU」の特色を活用し地域交流を行った他、国府支援学校とは教福連携を強化することができた。利用状況に関しては、コロナ禍を受けて目標とする平均稼働率に届かなかったことが今後の課題である。

事業別の利用状況（令和4年3月31日現在）

|        | 定員 | 現員 | 平均利用者数 |
|--------|----|----|--------|
| 生活介護   | 30 | 28 | 21.3   |
| 就労移行   | 6  | 2  | 1.1    |
| 就労継続B型 | 24 | 22 | 16.5   |

### 2 取組事項

#### (1) 利用者サービスの向上など

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・職員だけでなく関係者の健康管理、健康観察・消毒の徹底など感染予防と拡大の予防を行った。コロナ禍の生活で楽しめる活動に重点をおきICT活用や徹底した対策をしたうえで行事の充実化を行った。
- ② 個々の個性を生かした創作活動に力を入れ、障害者アーティストの卵展、全国書道展等に出品し、エナジー展ではエナジー賞と審査員特別賞を受賞した。
- ③ 社会生活技能訓練（SST）としてお金の支払いスキルアップ訓練を中心に実施した。また、ビルメンテナンス協会と協定を結んでおり、大型清掃機械等の操作体験会を開催し働く意欲や作業学習等のきっかけづくり・実施基礎体力・適性や課題把握のために施設外就労に参加し基礎訓練を行った。
- ④ 農福連携ではじゃがいもなどの自社栽培・ふらっとラボ（加工室）では自社栽培した作物をパウダーなどに加工し企業へ納品を行う6次産業化・体力に自信のない方を中心に農家より依頼された作物を袋詰めするなど全員参加の新たな取り組みを実施した。
- ⑤ 施設内外の研修等へ積極的に参加し、支援技術向上と専門性を高める取り組みを行った。

#### (2) 防災への取り組み

防災への取り組みでは、地震などいろいろな状況を想定しての避難訓練の実施、また感染症対策を盛り込んだBCP計画の策定を行った。

(3) 地域共生社会への取り組み

- ① 地域生活拠点「ふらっと KOKUFU」の特色を活用し、ふらっと Café で開催された国府町マルシェなどの地域イベント・ワークショップへの参加を行った。
- ② ダイバーシティの先導モデルとして整備中の国府支援学校とは地域での農福連携の取組を実施した。具体的には、インターンシップや農福連携を含めた将来の農業人材の育成につなげるため植え付け体験及び土壌整備など訓練・教育を共同で行った。



## ふらっとホーム

令和3年9月に開所し、24時間職員の配置がなされた共同生活援助・短期入所としての事業を展開してきた。

国府支援学校、障害児入所施設未来をはじめとした近隣地域と連携を密に取りながら、共同生活を営み自立した社会生活を送り、本人が望む暮らしができるようにサービスを提供した。

利用者状況については、グループホームは男性5名、女性1名、計6名が入居しており、就労については一般就労者1名、福祉的就労・事業所利用者5名が地域で取り組みを行った。

### 1 進捗状況

ふらっとホームでは、夜間支援員を配置し、困ったときにいつでも相談できる体制でサービスを行っている。利用者ひとりひとりに対応したサービスを目指しており、食事提供や外出支援、金銭管理に関しては、特性に応じた援助が行えるように試行錯誤を繰り返してきた。

#### (1) グループホーム入退所の状況

| 令和3年9月1日現在 | 入所者数 | 退所者数 | 次年度への継続利用者数 |
|------------|------|------|-------------|
| 0名         | 6名   | 0名   | 6名          |

#### (2) 短期入所利用者の状況

| 令和3年度      | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|------------|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 利用者延べ人数(人) | 0  | 2   | 5   | 27  | 29 | 27 | 30 | 120 |

### 2 重点取組事項

#### (1) サービス提供体制の充実と向上

サービス提供や相談への対応について、職員間で連携を取りながら、統一した援助が行えるように努めてきた。特に必要な事柄については、月1回開催される職員連絡会で協議を行った。

職員研修として「感染症予防対策について産業医の講義」、「感染症対策とガウテック」、「救命救急講習・AED実技」、「障害者虐待防止の理解と対応」の各研修を行い、職員のスキルアップに努めた。

#### (2) 防災、減災への取り組み

ふらっと KOKUFU 全体で地震発生時の避難訓練を実施した。

#### (3) 利用者の獲得

相談支援事業所を中心に利用希望者の問い合わせ及び空き状況の連絡を行い、感染症対策に十分注意しての常時の見学受け入れや、1月には施設見学会を行った。今後も体験利用の積極的な受け入れを継続していくとともに、相談支援事業所や支援学校を訪問して、サービス説明や入居募集を行っていく。

#### (4) 短期入所の運用

地域生活支援拠点事業として緊急短期入所の受入れを担っており、必要に応じて緊急的な対応ができる体制を整備し、緊急受入れのための体験利用として2件の受入れを行った。その他の利用者も随時受入れを行っており、体験の場の提供を継続して行った。



## 希望ホーム

地域において共同生活を営みながら自立した社会生活を送り、本人が望む暮らしを過ごすことができるように、サービス提供や相談支援を適切に実施した。利用者状況については、男性7名、女性6名、計13名が入居しており、一般就労者9名、福祉的就労者4名が地域生活の中心としての就労に取り組んだ。

前年度に続きコロナ禍での生活となった。帰宅時には、手洗い・消毒・うがいの徹底を行った。

### 1 進捗状況

希望ホームでは、世話人が朝夕の食事の提供、健康管理などを中心に支援し、支援員が日中に、通院支援、余暇支援、居室の整理整頓などを含む生活支援を行っている。複数の職員がシフト勤務をしているため職員間の情報共有などを重要視して業務にあたった。

ホーム入居者の健康管理においては、健康診断を、徳島市や医療機関から案内があったものについて実施し、新型感染症対策は状況に応じて対応の見直しを行った。

#### (1) 入退所の状況

| 令和3年4月1日現在<br>前年度継続利用者数 | 入所者数 | 退所者数 | 次年度への継続利用者数 |
|-------------------------|------|------|-------------|
| 12名                     | 1名   | 1名   | 12名         |

### 2 重点取組事項

#### (1) 新型コロナウイルス感染症の対応

利用者・職員に継続的に新型コロナに関する情報を提供し、感染予防についての注意喚起を行った。感染の可能性がある場合は、協力医療機関でのPCR検査の実施、行動履歴の聞き取り、外出制限等の適切な対応を行った。

#### (2) サービス提供体制の充実と向上

安定している利用者には見守りを中心に、現在の生活を継続できるように働きかけを行った。

不安定な利用者に対しては、相談支援事業所、掛かりつけ病院、就業先、職業支援センター等との多機関で共同しながら、手厚く継続的な介入を行った。

職員研修として「感染症予防対策について産業医の講義」、「感染症対策とガウテック」、「救命救急講習・AED実技」、「障害者虐待防止の理解と対応」の各研修を行い、職員のスキルアップに努めた。

#### (3) 防災、減災への取り組みの強化

BCPの見直しを行うとともに、年2回の地震、火災、津波、高潮を想定した垂直避難訓練を実施して災害発生に備えた。



## 相談支援事業所きぼう

相談支援事業所きぼうは、平成 25 年 4 月から一般・特定・障害児相談支援事業を開始し、計画相談支援の実施や地域移行、地域定着の支援を行ってきた。徳島市からは、「障害者相談支援事業」と「地域生活支援拠点整備事業」の 2 事業を受託し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に取り組んだ。

コロナ禍での感染症対策と業務の効率化を図るため、在宅勤務を継続。

また、令和 3 年 9 月「ふらっと KOKUFU」に移転し、地域共生に向けて各関係事業所との連携にも努めている。

### 1 進捗状況

#### (1) 相談件数の状況

|           |             | R3 年度 | 前年度   |
|-----------|-------------|-------|-------|
| 特定相談支援事業  | サービス利用支援    | 413   | 379   |
|           | 継続サービス利用支援  | 1,012 | 1,015 |
|           | 計           | 1,425 | 1,394 |
| 障害児相談支援事業 | 障害児支援利用援助   | 190   | 140   |
|           | 継続障害児支援利用援助 | 169   | 191   |
|           | 計           | 359   | 331   |
| 一般相談支援事業  | 地域移行支援      | 0     | 0     |
|           | 地域定着支援      | 0     | 6     |
|           | 計           | 0     | 6     |
| 総 数       |             | 1,784 | 1,731 |

#### (2) 徳島市障害者相談支援事業の状況

##### ア 相談件数の状況

|     | 身体障害 | 重症心身 | 知的障害  | 精神障害 | 発達障害 | 高次脳 | その他 | 計     |
|-----|------|------|-------|------|------|-----|-----|-------|
| 障害者 | 800  | 0    | 2,026 | 775  | 10   | 36  | 8   | 3,655 |
| 障害児 | 22   | 10   | 193   | 48   | 107  | 0   | 199 | 579   |
| 計   | 822  | 10   | 2,219 | 823  | 117  | 36  | 207 | 4,234 |

##### イ 相談内容

| 内容         | 件数    | 内容        | 件数    |
|------------|-------|-----------|-------|
| 福祉サービスの利用等 | 3,286 | 家計・経済     | 137   |
| 障害や病状の理解   | 33    | 生活技術      | 54    |
| 健康・医療      | 191   | 就労        | 270   |
| 不安の解消・情緒安定 | 167   | 社会参加・余暇活動 | 4     |
| 保育・教育      | 8     | 権利擁護      | 13    |
| 家族関係・人間関係  | 40    | その他       | 31    |
| 計          |       |           | 4,234 |

### (3) 徳島市地域生活支援拠点整備事業の状況

#### ア 登録者の概要 ※ ( ) 内は重複障害の再掲

| 身体障害  | 知的障害   | 精神障害  | その他   | 計      |
|-------|--------|-------|-------|--------|
| 3 (2) | 53 (6) | 1 (0) | 0 (0) | 57 (8) |

#### イ 相談・緊急時受入れ対応

| 相談 (きぼう) |    | 緊急時受入れ (希望の郷) |       |        |
|----------|----|---------------|-------|--------|
| 電話       | 来所 | 契約数           | 見学・体験 | 緊急時受入れ |
| 2        | 0  | 44            | 13    | 0      |

## 2 重点取組事項

### (1) 質の高い相談支援の提供および専門性の向上

職員の専門性を高める為に、強度行動障害支援者養成研修・医療的ケア児等コーディネーター養成研修へ参加し、質の高い相談支援の提供を目指した。

令和3年度は事業所としては初めてとなる主任相談支援専門員養成研修を受講し、取得に至り、配置加算を算定することも出来た。

### (2) 各委託事業の実施

徳島市から受託している「徳島市障害者相談支援事業」を継続し、地域の困りごと相談窓口としての役割を務める。「徳島市障害者地域生活支援拠点事業」では、緊急時要支援者台帳の作成や短期入所受入れ調整、24時間365日体制の相談支援を継続した。

また、令和4年度より徳島市から新たに「徳島市障害者虐待防止センター」と「とくしま見守りねっと(徳島市高齢者・障害者見守りネットワーク)」を受託することとなり、協議を重ねた。

### (3) 次期中期計画の策定

令和4年度に策定される中期計画に向けて「ふらっとKOKUFU」における相談支援事業所としての役割を遂行する為に、週1回のペースで開催している会議の中で職員が意見を出し合い協議を重ね、準備をすすめた。

### (4) 多様で柔軟な働き方

コロナ禍での感染症対策と業務に集中できる環境を整えて効率化を図ることを目的として在宅勤務を継続し、多様な働き方によるワークライフバランスの充実に努めた。

コロナ禍における面談・訪問等については市町村と協議のうえ、電話やファックス等を活用した感染予防の徹底により事業継続に努めた。



## 児童デイフラット未来

児童デイフラット未来は、放課後等デイサービス事業と児童発達支援事業の多機能型事業所として定員15名でふらっと KOKUFU の発達支援棟において事業を行っている。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

本年度は、4月に名称を「児童デイフラット未来」と改め、定員を10名から15名に増やし、未来管理棟のプレイルームで事業を行ってきたが、9月のふらっと KOKUFU のオープンに合わせて発達支援棟へ移転した。

移転に際しては、遊具、訓練用具の整備、保護者への説明会、内覧会を実施し、新しく充実した設備での事業実施に保護者の方からもご好評いただいている。

利用実績については、2事業を合わせて、3,401名（前年対比138.9%）となっており、作業療法士及び理学療法士による専門的療育メニューや交流パーク等での運動療育、徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターの協力による療法的音楽活動等の療育プログラムにより、一人ひとりの状況に合わせた発達支援を行った。

#### ① 放課後等デイサービス事業 (利用定員：児発、放デ合わせて15名/日)

| 項目       | 契約区分 | 継続契約                | 新規契約 | 契約終了 | 合 計 |
|----------|------|---------------------|------|------|-----|
| (1) 契約状況 |      | 45                  | 16   | 4    | 57  |
| (2) 利用実績 |      | 3,214名（前年度実績2,447名） |      |      |     |

#### ② 児童発達支援事業 (利用定員：児発、放デ合わせて15名/日)

| 項目       | 契約区分 | 継続契約           | 新規契約 | 契約終了 | 合 計 |
|----------|------|----------------|------|------|-----|
| (1) 契約状況 |      | 0              | 3    | 2    | 1   |
| (2) 利用実績 |      | 187名（前年度実績11名） |      |      |     |

### 2 重点取組事項

#### (1) 利用者の確保等

本年度から開始した児童発達支援事業の契約者獲得のため、関係機関等への周知などPRに努めた。また子育ての悩みや療育相談に応じるため、保護者に対する事業所内相談支援を行った。



▲ 落成披露会



▲ 植栽ワークショップ



▲ 療法的音楽活動

## ふらっと Café (地域共生事業)

ふらっと Café は、「ほっとスペース」「パブリックホール」からなる貸館施設であり、地域の様々な方が集える場所の創出を目指し設置された、法人全体における地域共生事業の取り組みの中心となる施設である。

開設後、地域の方が交流できるようなイベント等を定期的実施しており、開催件数 7 件、延べ 969 名の地域住民の参加があった。貸館施設としては近隣幼稚園の遠足や地域の子育てサークルの子供会等、貸出件数 10 件、延べ 221 名の利用があった。

イベントや貸館以外にも施設を常時開放しており、地域住民が防災パークを散歩し、近隣の小学生等が交流パークで遊ぶ等、地域住民の生活の一部となるような施設となっている。

また、新型コロナウイルス感染拡大予防と貸館業務等の両立を図るため、「とくしまアラート」発動に伴う利用人数等の制限を設ける等、講じるべき感染症対策に努めた。

### 1 進捗状況

#### (1) ふらっと Café の利用状況

|        |           | 3 月 31 日付実績 |
|--------|-----------|-------------|
| 貸館関係   | 貸館 (件)    | 10          |
|        | 利用人数 (名)  | 221         |
| イベント関係 | イベント等 (件) | 7           |
|        | 参加人数 (名)  | 969         |

#### (2) 主なイベント等

- ア 10月17日(日) 国府町マルシェ IN ふらっと KOKUFU VOL. 1
- イ 10月27日(水) コーヒーカップ絵付けワークショップ
- ウ 11月 2日(火) 国府幼稚園遠足
- エ 11月21日(日) 緩急走等スポーツ大会(1日目)
- オ 12月17日(金)～12月21日(火)  
Tokushima Flower Festival
- カ 12月18日(土) 緩急走スポーツ大会(2日目)
- キ 12月19日(日) 国府町マルシェ IN ふらっと KOKUFU VOL. 2
- ク 1月15日(土) 墨で遊ぶアート

### 2 重点取組事項

#### (1) だれもが集える場の定期的な設定

多様な地域住民の交流の場を設けるため、定期的なイベントの開催を実施した。また、施設を常時開放するとともに、専門職員を配置して法人が有する相談支援の能力を活用し、いつでも相談できる場として設置する等、地域課題の把握に努めた。

より質の高い取り組みとなるように、「徳島県版ユニバーサルカフェ」認定申請を見据えて包括的な活動を意識した。

## (2) 組織体制の整備

ふらっと Café は、法人全体における地域共生事業の取組みの中心となる施設であるという考えのもと、法人全体でふらっと Café の運営に関わるための体制整備を進め、管理運営計画等を制定した。

## (3) 福祉避難所の整備

災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を徳島市と締結し、備蓄品等の必要な物資を確保し体制を整備した。また、福祉避難所開設・運営訓練の実施へ向けて徳島市と協議を行った。



## 徳島県立障がい者交流プラザ（障がい者交流センター）

障がい者交流プラザは、障がい者の自立と社会参加の促進に向けた活動と交流の拠点施設として、交流の場の提供、視聴覚障がい者に対する支援、障がい者の文化芸術の振興、スポーツの振興・普及等、施設機能を最大限に活用して障がい者の自立と社会参加の促進を図った。

また、管理運営では、視聴覚障がい者支援センター及び障がい者スポーツセンターと連携して、利用者の安全管理を徹底するとともに、利用者、入居団体、地域参画型による管理運営を行った。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

with コロナの取り組みとして、検温、手指消毒はもちろんのこと、利用人数の制限等を行いながら各種講座を実施した。

9月の1か月間を「2021交流プラザフェスタ月間」とし、プラザショップにおける定期的な企画展、とくしま障がい者就労支援協議会等と連携したマルシェを開催した。また、プラザロビーにおいては、プラザ利用者なら誰でも参加できる「参加型パネル展（七夕、水族館、お月見、ハロウィーン）」を実施するなど、コロナ禍においてもプラザ利用者が楽しむことができる事業を展開した。

管理運営面においては、災害時に備え、プラザ館内の危機管理マニュアルの改正、自衛防災訓練、避難所開設・運営訓練を地域の方々と共に実施した。

また、令和3年度の年間利用者数については、90,558人（前年比106.9%）であった。

#### (1) 障がい者交流プラザ全体年間利用者数 (単位：人)

| 令和3年度実績 | 令和2年度実績 | 対前年比   |
|---------|---------|--------|
| 90,558  | 84,678  | 106.9% |

#### (2) 会議室等利用実績 (注) 利用実日数 352日/年間

| 項 目               | 令和3年度実績 | 令和2年度実績 | 対前年比   |
|-------------------|---------|---------|--------|
| 有料施設 件数(件)        | 2,043   | 1,970   | —      |
| 人数(人)             | 21,109  | 21,245  | —      |
| ボランティア室(無料) 件数(件) | 280     | 205     | —      |
| 人数(人)             | 2,443   | 1,592   | —      |
| 合 計 利用件数(件)       | 2,323   | 2,175   | 106.8% |
| 利用人数(人)           | 23,552  | 22,837  | 103.1% |

#### (3) 利用収入実績 (単位：円)

| 令和3年度実績額 | 令和2年度実績額 | 対前年比  |
|----------|----------|-------|
| 584,350  | 775,800  | 75.3% |

#### (4) 実施事業の内容

| 事業内容               | 実施内容等                                                                              |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| プラザ講座の開催           | ① 実施回数：44回                      ② 参加人員：241名<br>③ 講座内容：陶芸 他6講座      ④ ボランティア：28名    |
| 第16回交流プラザフェスタ月間の開催 | ① 日 時：令和3年9月      ② 参加人員：3,941名<br>③ 事業内容：プラザ利用者に頃の感謝の気持ちを込めて、「2021交流プラザフェスタ月間」を開催 |
| 通報・消火・避難誘導訓練       | ① 実施回数：2回      ② 参加人員：約60名（職員及び利用者）<br>③ 訓練内容：通報、消火、避難誘導訓練、館内設備の確認等                |
| 障がい者の自立支援の推進       | ① 就労場所：障がい者交流プラザ全館      ② 就労者数：5名<br>③ 事業内容：館内清掃業務等を通じて障がい者の自立を推進                  |
| 企画展の開催             | ① 実施回数：16回<br>② 事業内容：パネル展、絵手紙展等                                                    |
| 館内連絡調整会議の開催        | ① 実施回数：3回      ② 出席者数：38名<br>③ 会議の内容：プラザの運営に関する連絡協議等                               |
| 避難所開設訓練            | ① 実施回数：1回      ② 参加人員：41名<br>③ 事業内容：コロナ対応の「受付」に特化した避難所開設訓練                         |
| プラザ福祉講座            | ① 実施回数：1回      ② 参加人員：2名<br>③ 事業内容：「手話講座」「点字講座」                                    |
| 障がい者の学びコース         | ① 実施回数：11回      ② 受講者：46名<br>③ 講座内容：スマホ入門 他10講座                                    |
| 館内設備等の整備と充実        | ① 実施内容：館内LED化、屋上防水工事                                                               |

## 2 重点取組事項

- (1) 災害時に備えての体制づくりとして、令和4年1月18日、コロナ禍における避難所開設・運営訓練（受付対応）を地域の方々をまじえて実施し、訓練結果（課題等）を共有できる資料を作成した。
- (2) 利用者200万人達成（令和4年8月頃）に向け、様々な企画展等を開催するとともにアンケート調査や満足度調査の実施やホームページの修正を行う等、サービスの向上及び迅速な情報提供を行い、利用者の拡大に努めた。
- (3) 施設の長寿命化及び管理運営コストの削減のため、照明のLED化等の修繕を計画的に行った。



ロビー企画展



避難所開設・運営訓練



プラザ講座

徳島県立障がい者交流プラザ（視聴覚障がい者支援センター）

視覚や聴覚に障がいのある人の支援専門機関として、点訳・音訳指導員、歩行訓練士、手話通訳士等を配置し、視覚・聴覚障がい者が安心して地域生活を営むことができるよう、関係機関と連携・協働し、一人ひとりに寄り添った支援を目指して、視覚障がいリハビリテーション、情報・コミュニケーション支援事業等を実施した。

1 事業活動の概況と進捗状況

令和3年度は、感染対策に留意し、対面、オンライン、またはハイブリッド方式により、各種事業を実施した。

生活訓練においては、コロナ禍により、オンライン会議等が主流になりつつある中で、視覚障がい者がオンラインでの会議に参加する際の接続方法等の訓練や、ニーズに応じていつでもスマホの操作支援ができるよう新たに実機を整備し、講座などを実施した。訪問・通所支援を行う場合は感染対策を徹底し、感染の不安がある方は遠隔での対応を行った。

点字図書館事業に関して、利用状況については、在宅で自由な時間に利用できるサピエ図書館からのダウンロード数が昨年度と比較すると増加した。また、日常生活用具の支給対象者以外の方へ再生機器の貸出を行い、読書環境整備を図った。

聴覚障がい者への支援として、新型コロナウイルスに係る県知事記者会見やワクチン大規模接種などコロナに関する手話通訳派遣が増加した。また高齢化による病院受診等、ご自身やご家族の生活環境の変化による手話通訳依頼が増え、昨年度より手話通訳派遣依頼の件数が1.4倍ほど増加した。

(1) 進捗状況

ア 点字図書館事業（視覚障がい者情報提供事業）

（単位：タイトル数）

| 項 目         |     | 令和3年度実績        | 令和2年度実績        | 備 考 |
|-------------|-----|----------------|----------------|-----|
| 種 別         | 区 分 |                |                |     |
| 点 字 図 書     | 受 入 | 85             | 124            |     |
|             | 利 用 | 2,248(1,614)   | 1,827(1,181)   |     |
| 音 声 図 書     | 受 入 | 83             | 110            |     |
|             | 利 用 | 33,295(27,616) | 34,601(27,922) |     |
| テキストデージー図書他 | 受 入 | 18             | 19             |     |
|             | 利 用 | 1,660(1,660)   | 1,549(1,535)   |     |

※（ ）内はダウンロード数

イ 生活訓練事業（視覚障がいリハビリテーション）

（単位：延べ人数）

| 種 別     | 令和3年度実績 | 令和2年度実績 | 備 考                              |
|---------|---------|---------|----------------------------------|
| 相 談     | 296     | 340     | 補装具・日常生活用具、同行援護、P C 等情報機器操作上の問題等 |
| 通所・訪問支援 | 287     | 302     | 歩行訓練、点字訓                         |

|           |     |     |                      |
|-----------|-----|-----|----------------------|
| アウトリーチ支援  | 35  | 33  | 練、情報機器訓練等            |
| 遠隔支援      | 26  | 95  | 情報機器訓練等              |
| いろいろカルチャー | 244 | 141 | 料理・手芸、レクリエーション・音楽鑑賞等 |

ウ 聴覚障がい者情報・コミュニケーション支援事業 (単位：本数、件数)

| 種 別                   | 令和3年度実績 | 令和2年度実績 |
|-----------------------|---------|---------|
| 字幕入りビデオ等の貸出           | 49      | 44      |
| 手話通訳者派遣               | 1,352   | 993     |
| 県知事定例・臨時記者会見への手話通訳士派遣 | 221     | 167     |
| ワクチン大規模接種             | 33      | —       |
| 要約筆記者派遣               | 58      | 56      |

## 2 重点取組事項

### (1) 徳島県読書バリアフリー推進事業

公立図書館等職員研修会を開催し、再生機器の操作研修や県外公立図書館の障がい者サービスを学ぶなど、県内の読書バリアフリー推進を目指し、公共図書館職員等との連携を深めた。

また、県内高等学校放送部5名の生徒を対象に、音声図書製作体験研修を実施した。分担して、録音・校正・編集の作業を行い、完成した音声図書を視覚障がい者と一緒に検聴し、好評を得た。参加した生徒からは「新しい知識を習得できて良かった」「声だけで伝えることは読み方に工夫が必要で大変だったが楽しかった」など感想をいただき、視覚障がい者の現状について理解を深めることができた。

### (2) 鳥取県と徳島県の手話通訳者等の交流研修会の開催

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会本部、法人運営のセンター等鳥取県内4か所と徳島をオンラインで繋ぎ、鳥取県聴覚障害者協会職員と県内手話通訳者等併せて59名が参加し、南海トラフ巨大地震での想定される被害状況について学習した。被害状況を知ること、自分たちがどのように避難する必要があるか、またどのような支援体制が必要かを改めて考える機会となった。

### (3) 見えない・見えにくい方向け福祉機器講演会

講師とオンライン接続し、用具・機器紹介と体験会を全4回開催した。

上半期：2回開催

第3回：最新技術音声案内システム「NaviLens (ナビレンス)」 参加者 35名

第4回：障害物や段差を知らせる眼鏡「RtF グラス」 参加者 11名

第3回講師はフィンランドとオンライン接続し、アプリ紹介の後、体験会を実施した。オンライン接続により様々な場所から講師と繋がるのが可能となり、講演の内容を広げることができた。今後も様々な情報の提供に努めたい。

#### (4) iPhone 体験会の開催

実機を準備し、全3回の体験会を開催した。スマホに興味はあるが、使用できるか不安という視覚障がい者のために、実機を使って体験会を行った。スマホを利用したい視覚障がい者がスムーズに移行できるよう、今後も操作方法の支援に取り組む。

#### (5) 見学&体験ツアーの開催

地域貢献事業として、近隣の小学生を対象に当センターの見学&体験ツアーを実施した。

冬休みに開催したこともあり、16名が参加し、点字体験や手話体験をとおして、視聴覚障がい者の理解を深めた。



鳥取県と徳島県の  
手話通訳者等の交流研修



城北高等学校生による  
音声図書製作体験



見学&体験ツアー

## 徳島県立総合福祉センター

徳島県立総合福祉センターは、福祉関係者やボランティア団体等の活動拠点として、昭和58年に開館し、ホール、会議室等の活動の場の提供や各種福祉情報等の発信によって、社会福祉の発展に寄与している。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

本年度の会議室等の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の状況に伴って一時的な利用制限があったものの、利用件数及び利用収入とも前年度を大幅に超える状況となった。

一方、自主事業をはじめとする施設運営については、福祉講座や企画展、地域連携による地域防災講座や地域交流絵画展を開催するとともに、徳島県と福祉団体との協働による、「生涯健康フェア」を初めて開催したところである。

また、施設の維持管理業務については、利用者の安全管理と快適性の向上を目的に、館内各所の修繕工事を実施するとともに、建築設備については、徳島県による改修工事が年次計画に沿って実施されたところである。

#### (1) 会議室等の利用状況

| 年 度                  |          | 令和2年度     | 令和3年度      | 増減率    |
|----------------------|----------|-----------|------------|--------|
| 項 目                  |          |           |            |        |
| 来 館 者 数              |          | 33,806    | 55,225     | 163.3% |
| 会 議 室 ・ 設 備<br>(有 料) | 件 数 (件)  | 3,452     | 5,375      | 155.7% |
|                      | 人 員 (名)  | 32,220    | 53,172     | 165.0% |
|                      | 利用収入 (円) | 9,346,410 | 15,354,420 | 164.2% |
| ボランティヤ室<br>(無 料)     | 件 数 (件)  | 273       | 332        | 121.6% |
|                      | 人 員 (名)  | 1,586     | 2,053      | 129.4% |
|                      | 利用収入 (円) | —         | —          | —      |
| 合 計                  | 件 数 (件)  | 3,725     | 5,707      | 153.2% |
|                      | 人 員 (名)  | 33,806    | 55,225     | 163.3% |
|                      | 利用収入 (円) | 9,346,410 | 15,354,420 | 164.2% |

#### (2) 自主事業の内容

| 事業項目        | 自主事業の内容                                                                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------|
| 福 祉 講 座     | ① 実施回数：1回<br>② 延べ参加者：30名<br>③ 講座の内容：ガーデニング講座                           |
| 企 画 展       | ① 実施回数：30回<br>② 企画展の内容：認知症パネル展、ちぎり絵展、陶芸クラブ作品展<br>オリパラ応援放映、Web公開講座など    |
| 地 域 防 災 講 座 | ① 実施回数：1回<br>② 参加人員：48名（地元自主防災会及び入居団体職員）<br>③ 講座の内容：豪雨災害に備える一昭和・東富田地区一 |

|         |                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 地域交流絵画展 | ① 実施回数：1回<br>② 出品数：27点<br>③ 絵画展の内容：昭和・富田幼稚園の園児が制作した絵画作品をロビーに展示し、来館者・保護者等が観賞 |
| 生涯健康フェア | ① 実施回数：1回<br>② 延べ参加者：61名<br>③ 講座の内容：フレイル予防をメインテーマに、栄養講座、活動報告及び記念講演による情報を発信  |



福祉講座（ガーデニング講座）



地域防災講座



生涯健康フェア

### （３）その他の取り組み

| 事業項目        | その他の取組内容                                                              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 館内連絡調整会議    | ① 実施回数：2回<br>② 参加人員：26名<br>③ 会議内容：事業継続計画（BCP）策定、運営協議ほか                |
| 障がい者の就労支援事業 | ① 参加人員：年間延べ228名<br>② 事業内容：障害者支援施設の利用者が館内清掃業務に従事し、就労活動を通じて自立が図れるよう支援   |
| 館内設備等の整備と充実 | ① 実施内容：会議室照明のLED化、中庭の整備、ブラインド取替、クロス張替、湯沸機器の交換等                        |
| 県単改修工事      | ① 改修箇所：2箇所<br>② 改修内容：機械室等換気ファン取替工事、駐車場ライン引き工事                         |
| コロナ感染対策     | ① 感染対策：非接触式体温計、飛沫感染ガード等の備品の配備<br>② 感染予防：マスク着用、手指消毒、検温の呼びかけ及び利用者名簿の提出等 |

## ２ 重点取組事項

### （１）会議室の新たな利用方法の提案

全館にWi-Fi環境が整備されたことに伴い、利用者に、Web会議等の新たな会議室の利用方法についての提案を行った。

### （２）特定建築物の定期調査結果に基づく徳島県への改修要請

建築基準法に基づき、3年毎の特定建築物の定期調査を実施し、その結果を徳島県に報告するとともに、次年度以降の改修箇所の要請を行った。

## ３ 総括

本年度は、コロナ禍の影響も少なく、新たな自主事業や地域連携事業の開催により利用者の大幅な増加に繋がった。次年度は、開館39年目を迎え、なお一層、安全で快適な施設運営を目指し、施設の維持管理に努めていく。

## 徳島県地域生活定着支援センター

徳島県地域生活定着支援センターは、罪を犯した高齢又は障がいのある方の社会復帰に向けた支援を行うために平成23年に設置され、以後、保護観察所からの依頼に基づき、矯正施設退所後の福祉サービスの斡旋や帰宅先の確保を行うコーディネート業務及び矯正施設退所後の受け入れ施設等への助言を行うフォローアップ業務等を行っている。

### 1 事業活動の概況と進捗状況

本年度の業務執行状況は、保護観察所からの依頼に基づくコーディネート業務は、前年度を下回る結果となったが、矯正施設退所後の受け入れ施設等への助言等を行うフォローアップ業務及び関係機関からの一般相談等を行う相談支援業務は、前年度並みの実績となった。

また本年度は、事業所開設10年となることから、これまでの業務成果をまとめた、「事業所開設10年のあゆみ」を発行し、関係機関に対して周知を行うとともに、四国四県の地域生活定着支援センターが情報交換や事例検討を通じて業務促進を図る「四国ブロック会議」を開催した。

#### (1) 業務執行状況

(単位：件)

| 年 度       |        | 令和2年度 | 令和3年度 | 増減率    |
|-----------|--------|-------|-------|--------|
| 項 目       |        |       |       |        |
| コーディネート業務 | 前年度継続分 | 4     | 3     | —      |
|           | 本年度新規分 | 5     | 4     | —      |
|           | 合 計    | 9     | 7     | 77.7%  |
| フォローアップ業務 | 前年度継続分 | 9     | 11    | —      |
|           | 本年度新規分 | 3     | 3     | —      |
|           | 合 計    | 12    | 14    | 116.6% |
| 相談支援業務    | 合 計    | 12    | 13    | 108.3% |

### 2 重点取組事項

#### (1) 関係機関との情報共有と相互連携

徳島保護観察所及び徳島刑務所との三者会議を開催し、今後出所予定者で支援対象となる方の情報共有を行うとともに、関係機関との相互連携を図った。

(開催回数：7回、参加者：70名)

#### (2) 「事業所開設10年のあゆみ」の発行

本年度に事業所開設10年となることから、これまで実施してきた業務成果（支援対象者、帰宅先等）をまとめ、関係機関に対して周知を行った。

(送付箇所：89箇所)

(3) 「四国ブロック会議」の開催

四国四県の地域生活定着支援センターが業務上抱える課題や提案等についての情報交換を通じて業務促進を図る「四国ブロック会議」を開催した。

(開催日：令和4年1月、参加者：14名)

(4) 職員の支援スキル向上

全国地域生活定着支援センター等が主催する専門研修会等にWebを通じて参加し、専門性の向上と困難事例解決のための方策等、職員の支援スキル向上に取り組んだ。

(開催回数：11回、参加者：11名)

(5) 入口支援業務開始に係る支援業務検討会議の開催

令和4年度から実施する高齢・障害被疑者等支援業務（入口支援）に向けて、徳島県、保護観察所及び検察庁による支援業務検討会議を開催し、実施後の課題、事前準備事項等の検討協議を行った。

(開催回数：2回、参加者：13名)

## 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

芸術・文化は、障がいのある方々が「優れた才能」を発揮し、「感動」を創造できる大きな可能性を秘めた舞台であることから、センターでは、徳島県における障がい者芸術・文化の拠点として、「支える」「育てる」「繋がる」「発表する」「広める」の5本柱を基本に事業を進めている。

### 1 事業活動の状況と進捗状況

令和3年度は東京2020オリパラ開催年であり、センターとしても機運醸成を図るため、東京2020パラリンピック聖火フェスティバル徳島の「出立式」において、特別支援学校と大学生のコラボレーションによる和太鼓演奏、障がい者サークルによる阿波踊りを行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で会場変更等を余儀なくされたが、演者たちの熱気あふれる舞台表現により、会場内の聖火ランナーへの応援ムードを盛り上げた。

また、県内外の作品交流を目指した、初の「全国公募Tシャツデザイン展」や、「第7回障がい者アーティストの卵」発掘展、県外アーティストの作品展「PICFA アートの仕事展」などを開催し、障がい者の芸術・文化活動の裾野拡大と障がい者の芸術の素晴らしさを県民にPRした。

特に、「障がい者アーティストの卵」発掘展では、応募作品が昨年の1.5倍に増えており、芸術文化活動に取り組む障がいのある方々が着実に増加し、障がい者アートへの関心が広がってきている。

さらに、人材育成のための研修として、「ボディランゲージ遊学のスズメ」、「身近な材料で楽しむ染色講座」など4講座5回のワークショップを開催するとともに、障がい者アートに先駆的に取り組んでいる Good Job!センター香芝の視察研修を行った。

| 項 目       | 内 容                                      |                             | 備 考                  |
|-----------|------------------------------------------|-----------------------------|----------------------|
| 相談支援      | 作品を出品する際の輸送及び梱包に関する相談等                   |                             | 相談件数 18件<br>(電話、来所等) |
| 人材育成      | ワークショップ                                  | ①ボディランゲージ遊学のスズメ             | 参加者数 3施設<br>33名      |
|           |                                          | ②身近な材料で楽しむ染色                | 全2回<br>参加者数 11名      |
|           |                                          | ③美術館を体験しよう！<br>ユニバーサル美術館展見学 | 参加者数 12名             |
|           |                                          | ④陶芸体験                       | 参加者数 10名             |
|           | 「PICFA アートの仕事展」ゲストトーク                    |                             | 参加者数 20名             |
|           | 視察研修 Good Job!センター香芝（奈良県）                |                             | 参加者数 10名             |
| ネットワークづくり | 企画委員会の開催                                 |                             | 開催数（書面）2回            |
| 発表等の機会の創出 | ①東京2020パラリンピック聖火フェスティバル<br>「出立式」における舞台表現 |                             | 和太鼓 28名<br>阿波踊り 26名  |

|      |                                              |                                    |
|------|----------------------------------------------|------------------------------------|
|      | ②全国公募 T シャツデザイン展                             | 応募数 425 点<br>入選数 15 点              |
|      | ③「PICFA アートの仕事展」<br>障害者福祉サービス事業所 PICFA (佐賀県) | 展示作品数 99 点<br>入場者数 1,194 名         |
|      | ④第 7 回「障がい者アーティストの卵」発掘展                      | 出品数 125 点<br>入賞数 7 点<br>入場者数 715 名 |
|      | ⑤プラザギャラリー                                    | 企画展 3 回<br>貸出 4 施設                 |
| 情報収集 | ①訪問調査<br>新たな作家・作品の発掘                         | 特別支援学校等<br>26 箇所                   |
|      | ②アンケート調査「コロナ禍における芸術文化活動に関するアンケート」            | 福祉事業所等<br>352 箇所                   |
| 情報発信 | ウェブサイト、インスタグラム                               | アクセス数 7,420 件<br>フォロワー数 261 名      |

## 2 重点取組事項

### (1) 「PICFA アートの仕事展」

県外の優れた作品を紹介することを目的に、多くの企業とコラボした創作活動を行っている佐賀県基山町の医療法人清明会障害者支援施設 PICFA (ピクファ) で描かれた作品展を県立近代美術館で開催した。絵画や立体作品の他、日本酒のラベルなど企業から請け負った原画等 99 点の作品を展示するとともに、PICFA の施設長によるゲストトークをオンラインで行った。PICFA では障がいのある人たちの創作活動を「仕事」と捉え、障がい者による創作活動の社会への展開を実践している点が特徴的である。参加施設はもとより、令和 4 年度に、作品レンタル等作者へ還元できるような仕組みづくりをモデル的に実施することを計画している当センターとしても先行事例として大いに参考になった。

### (2) ワークショップ「ボディランゲージ 遊学のスズメ」

演出家で舞台俳優でもある講師を招聘し、言葉は使わず、身体で伝えるコミュニケーションを体験した。参加者は、講師の表情や動作に反応して楽しみながら身体全体を使って表現していた。会場と 3 施設を結びオンラインでの実施であったが、参加した施設職員からは、「利用者の新たな一面を発見できるかも知れない」、「道具が必要ないので施設で取り組みたい」などの感想や、「今回のような、人間の動作に着目した、利用者への伝え方を学習できる研修を希望する」といった意見が寄せられ、好評であった。

### (3) 視察研修

障がい者福祉事業所等の職員対象に、芸術活動に積極的に取り組んでいる障がい者

支援施設、「Good Job!センター香芝」(奈良県香芝市)への視察研修を行った。「Good Job!センター香芝」は、福祉の新たな形として、障がいのある人それぞれの個性・特技にあった仕事のあり方を提案し、障がいのある人ともに、ものづくりの仕組みや商品・仕事を開発している。参加していた就労支援施設の職員からは、「伝統工芸との協働による商品開発や、発送業務、店頭での接客、ネット販売までメンバーの得意なことを生かしているところを実際に見学することができて良かった」、「小さくても共に楽しみ働くことができる場所づくりから頑張ろうという勇気をもらった」といった前向きな感想を多くいただいた。次年度も開催を計画し、障がい者福祉事業所の職員の方々を応援したい。



ワークショップ「ボディランゲージ 遊学のスズメ」  
( 県立二十一世紀館 イベントホール )



ワークショップ「身近な材料で楽しむ染色」  
( 県立近代美術館 アトリエ )



「PICFA アートの仕事展」( 県立近代美術館 )



視察研修「GJC 香芝」( 奈良県香芝市 )

## ノーマライゼーション促進センター

ノーマライゼーション促進センターは、障がい者の自立と社会参加を促進するための啓発広報活動やリフトバスを運行することで、日常生活の支援に努めた。

### 1 事業活動の状況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

障がい者の自立と社会参加に向けた取り組みを行ってきた。また、心の輪を広げる体験作文や障害者週間のポスターの募集、障がい者の集い県民大会の開催を通しての啓発広報、福祉バス運行等による社会見学やスポーツ大会への参加など日常生活の支援を行い福祉の向上に努めた。

#### ア 心の輪を広げる体験作文及び障害者週間ポスター募集

応募数 〔令和3年7月1日（木）～9月3日（金）〕

小学生部門 障害者週間のポスター内閣府表彰1名

|      | 小学校 | 中学校 | 高校・一般 | 計   | 各部門において、最優秀賞、優秀賞、佳作を選考し令和3年12月11日（土）の第40回障害者の集い県民大会において表彰した。 |
|------|-----|-----|-------|-----|--------------------------------------------------------------|
| 作文   | 4編  | 13編 | 1編    | 18編 |                                                              |
| ポスター | 3点  | 5点  |       | 8点  |                                                              |

#### イ 障がい者による書道・写真の募集

応募数 〔令和3年8月13日（金）～9月13日（月）〕

書道部門：銅賞2名、写真部門：銀賞2名 銅賞2名、携帯フォト：入賞2名

| 書道 | 48作品 | 写真 | 32作品 | 全国審査（全国障害者総合福祉センター）への応募を行った。 |
|----|------|----|------|------------------------------|
|----|------|----|------|------------------------------|

#### ウ 徳島県障がい者福祉バス（リフト付きバス）の利用状況

|    | 県内   | 県外  | 計    | 木曜会、<br>徳島県聴覚障害者福祉協会、<br>徳島盲ろう者友の会 他 |
|----|------|-----|------|--------------------------------------|
| 回数 | 10件  | 1件  | 11件  |                                      |
| 人数 | 204人 | 16人 | 220人 |                                      |

#### (2) 福祉バス（リフトバス）の運行体制

徳島県障がい者福祉バス（リフト付きバス）の月別利用状況

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 回数 | 0  | 0  | 0  | 1  | 2  | 0  | 1   | 3   | 3   | 0  | 0  | 1  | 11  |
| 人数 | 0  | 0  | 0  | 21 | 34 | 0  | 21  | 65  | 53  | 0  | 0  | 26 | 220 |

福祉バスの運行により、社会参加への支援を行った。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用減となった。※前年度利用回数8回（利用者数162名）

## 2 重点取組事項

### (1) 障がい者福祉の理解促進を図る

今年度の障がい者の集い県民大会は、被表彰者代表のみの参加とし、利用人数を制限し開催した。また、徳島県で、令和3年8月14日の24市町村の火を集め、「徳島県の火」の「出立式」のオープニングアトラクションとして、「さくら連」さんが、阿波踊りを披露された映像を上映を行った。

### (2) 障がい者の自立と社会参加を促進する

リフトバス運行事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用回数は減少したものの、障がい者の方々が、安心・安全に利用できるように、感染症対策を行いながら事業を実施した。



第40回県民大会



内閣府表彰ポスター

## 徳島県障がい者スポーツ協会

徳島県障がい者スポーツ協会は、障がい者の方々の健康の維持や体力の増強はもとより、日々の生活の豊かさや社会参加への意欲向上に寄与するとともに、障がい者が身近な地域で日常的にスポーツを楽しむ環境づくりや競技力の向上に努めた。

### 1 事業活動の状況と進捗状況

#### (1) 進捗状況

当協会は、平成28年7月に設立され、今年度5周年を迎え、関係団体とのネットワークを構築しながら、障がい者スポーツの振興を図った。

令和3年8月には、東京2020パラリンピック競技大会が開催され、これを機にパラスポーツを未来につなげるレガシーとして、共生社会の実現を目指していく。

また、毎年5月には、ノーマピック・スポーツ大会、10月には全国障害者スポーツ大会選手団派遣等スポーツイベントが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期または中止となった。このような状況の中、「リアル」と「オンライン」を組み合わせたハイブリッドでの事業展開を行った。

令和2年9月設置の「とくしまパラスポーツ人材バンク」では、パラスポーツサポーターを派遣することで、地域でのスポーツ活動向上を図った。

#### (2) 実施事業の内容

| 事業目的          | 事業内容                   | 実施内容等                                                                                          |
|---------------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 障がい者スポーツの交流支援 | 徳島県南部地域ノーマピック・ボッチャ交流大会 | 1 開催日：令和3年7月18日（日）<br>2 場 所：阿南市那賀川スポーツセンター<br>3 参加人数：選手14名、審判等8名 計22名                          |
|               | 徳島県中部地域ノーマピック・ボッチャ交流大会 | 1 開催日：令和3年10月23日（土）<br>2 場 所：吉野川市民プラザアリーナ棟サブアリーナ<br>3 参加人数：選手42名、審判等19名 計61名                   |
|               | 徳島県西部地域ノーマピック・ボッチャ交流大会 | 1 開催日：令和3年11月13日（土）<br>2 場 所：ふれアリーナみよし<br>3 参加人数：選手30名、審判等6名 計36名                              |
|               | 徳島県ノーマピック・ボッチャ交流大会     | 1 開催日：令和3年12月5日（日）<br>2 場 所：徳島県立障がい者交流プラザ体育館<br>3 参加人数：選手30名、審判等12名、計42名                       |
|               | 特別支援学校対抗ボッチャ大会         | 1 開催日：令和3年11月16日（火）<br>2 会 場：吉野川市民プラザアリーナ棟メインアリーナ<br>3 参加人数：ボッチャの部32人<br>ターゲットボッチャの部（オンライン）33名 |
| 指導者の育成        | ボッチャ訪問指導               | 1 期 間：令和3年10月から令和4年3月<br>2 内 容：ルール、戦術、技術の指導<br>3 派遣件数：3回                                       |

|                |                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指導者の育成         | ボッチャ指導・審判体験研修会                                    | 1 開催日：令和3年11月23日（火）<br>2 場 所：徳島県立障がい者交流プラザ体育館<br>3 参加人数：会場35名、オンライン1名                                                                                                                                                                                                            |
|                | ボッチャ指導員・審判員スキルアップ研修会                              | 1 開催日：令和4年3月20日（日）<br>2 場 所：専門学校健祥会学園本館技能訓練室<br>3 参加人数：オンライン26名                                                                                                                                                                                                                  |
|                | とくしまパラスポーツ人材バンク設置事業                               | 1 登録者数：42名<br>2 派遣件数：78件                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 障がい者スポーツの普及、促進 | 徳島県障がい者スポーツ推進プロジェクト（2022頑張るんじょ！とくしまパラスポーツフェスティバル） | 1 目 的：オンライン等を活用した「ハイブリッド」のスポーツイベントを開催<br>2 開催日：令和4年1月23日（日）<br>3 開催場所：徳島県立障がい者交流プラザ<br>4 参加人数：会場75人、ライブ配信視聴回数289回                                                                                                                                                                |
|                | 障がい者スポーツの普及促進事業                                   | 1 目 的：障がい者スポーツの振興に資する競技用具の整備を必要とする障がい者スポーツ団体に補助金を交付<br>2 補助団体：10団体<br>3 補助内容：ボッチャセット等への補助。昨年度に引き続き、消毒等のコロナ対策消耗品にも補助を行った。                                                                                                                                                         |
|                | オンラインスポーツ教室                                       | 1 開催日：令和3年6月～令和4年3月<br>2 参加人数：延べ12団体（889人）                                                                                                                                                                                                                                       |
|                | 徳島県障がい者スポーツ推進プロジェクト（生涯スポーツ支援事業）                   | 1 目 的：身近な地域でのスポーツ活動を活発にするため、障がい者スポーツ団体の広報・周知<br>2 内 容：地域で活動する障がい者スポーツ団体へアンケート調査を実施。（送付21団体、回答14団体）、障がい者スポーツ団体を紹介するための冊子（1,850部）及び動画（協会ホームページで配信）を作成。<br>作成。                                                                                                                      |
| パラアスリートの発掘・育成  | パラアスリート卵発掘！ジュニア・アカデミー事業                           | 1 目 的：運動適正テストやスポーツ体験プログラムを実施し、スポーツの楽しさの実感や身体能力・競技力の向上を図る。<br>2 開催日：①令和3年11月5日（金）・11月19日（金）<br>12月3日（金）・12月17日（金） ②令和3年11月21日（日）・12月18日（土）<br>3 開催場所：①国府支援学校体育館、②ふらっと KOKUFU<br>4 内 容：①高等部生徒を対象に身体能力測定やスポーツ体験実施。②障がいの有無に関わらず、スポーツ体験に幅広く参加して貰い、パラスポーツを認知して頂く。<br>5 参加人数：①60名 ②143名 |

## 2 重点取組事項

- (1) 徳島県障がい者スポーツ協会5周年記念とし、「2022 頑張るんじょ!とくしまパラスポーツフェスティバル」を開催し、①パラリンピック参加者による「パラリンピアンを支えた徳島人」アカデミー、②e スポーツ講演会、③パラスポーツ・すわスポーツ・eスポーツ体験等を行った。
- (2) コロナ禍の中、スポーツ活動の実施において、大会規模やルールを工夫し、「リアル」と「オンライン」を組み合わせたハイブリッドで、第1回特別支援学校対抗ボッチャ大会を開催した。
- (3) 生涯スポーツへの「きっかけ」作りとして、障がい者スポーツの拠点である県立障がい者交流プラザで、スポーツ教室「とうっとスポーツ教室」を実施し、様々なスポーツ体験をしてもらい、スポーツの「楽しさ」「魅力」を伝える教室を開催した。
- (4) 指導者のスキルアップ研修等についても、オンライン研修を取り入れ、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、Withコロナでの工夫を行った。
- (5) 障がい者スポーツネットワークの構築として、当協会が中心となって、競技団体や指導者とのつながりだけではなく、障がい者と地域の方々を繋ぐネットワークとして、スポーツ用具の貸出や、広報誌やSNSを通して、スポーツ活動や魅力を効果的・効率的に情報発信を行った。



2022頑張るんじょ!とくしまパラスポーツフェスティバル  
パラリンピアンを支えた徳島人 2020東京パラリンピックトーチ



PETRA 体験会

※PETRA とは・・・

脳性麻痺の方にも乗ることが  
できるよう考案された自転車



第1回特別支援学校対抗ボッチャ大会  
ボッチャの部



ターゲットボッチャの部



とうっとスポーツ教室

※とうっととは・・・

イタリア語で「全部」という意味